

梅津五郎絵画展

錦秋と追想

「パリ郊外」「風景（サンミッシェル）」等、梅津のその後の画家人生に大きな影響を与えたフランス留学時代から生み出された作品と、日本の秋の風景を描いた作品を中心に展覧いたします。また、昨年度修復された「お巡りさん」の初お披露目となります。



《蔵王秋色》1971 部分



《建物（サクレクール寺院）》1967 部分

2019.9.25 [水] - 10.20 [日]

開館時間＝ 9:00～19:00

休館日＝ 9/30(月)、10/7(月)、10/15(火)

観覧料＝ 一般個人200円 高校生以下無料

※あゆーむ年間パスポート提示で無料(何回でも入場可)

※高校生以下のかたは、生徒手帳をご呈示ください

主催・お問合せ・会場＝

白鷹町文化交流センター **AYU:M**

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

TEL. 0238-85-9071

あゆーむ



梅津五郎

■ 梅津五郎プロフィール

1920年（大正9）山形県白鷹町浅立に生まれる。18歳の時画業を志して上京。森田茂、熊岡美彦の両氏に師事する。

東光展と日展を主な発表の場として、1956年（昭和31）の第12回日展において、自らが働く中華料理屋の厨房を描いた「調理場」で特選を受賞、独特の生活感が評価される。

1962年（昭和37）、42歳の時にフランスに留学。フランス滞在中にサロン・デ・ボザール展に初出品し準会員に推挙される。フランス滞在以後色彩が豊かで鮮やかになり、帰国後極めて厚塗りのタッチで日本の風景を描く。

1980年代からは、日本の風景に加え、自らのアトリエ（新宿区下落合）から見える街の風景や月を描いた作品が多くなり、新境地を示す。

東光会理事長、日展参与などの重責を担いながら一方で売り絵を描かない、注文の絵は描かないという厳しい姿勢を貫き、市場の評価を犠牲にしながらも主要作品多数を手元に置いておいた。晩年郷里の白鷹町に代表作など120点余を寄贈。2003年（平成15）83歳で没する。

梅津五郎絵画展

「錦秋と追想」

2019.9.25^[水] - 10.20^[日]

第3回 梅津五郎芸術賞 全国絵画公募展 募集開始

（生誕100年記念）

梅津五郎芸術賞「全国絵画公募展」は2013年（平成25）、没後10周年記念企画の一環として始まり、第2回を2016年（平成28）に実施しました。本年第3回の募集を開始します。

2020年は梅津五郎生誕100年に当たります。本年（2019）は公募の発表を行い、2020年に審査・入選作品発表展・表彰式を行なう予定です。詳細は別紙「応募要項」をご覧ください。

審査員

松田 茂

（東光会副理事長・日展会員）

番場三雄

（東北芸術工科大学教授・日本美術院同人）

小林俊介

（山形大学教授・博士〈芸術学〉・画家）

ー10月からパスポート会費が半額にー

AYu:M 年間パスポート

半年会費 1,000^(税込) で3つの特典

- 特典1** 観覧料 200 円のギャラリー展示は **無料**（何回見ても可）
- 特典2** 観覧料 201 円以上のギャラリー展示は **200 円引き**（団体割引との併用は不可）
- 特典3** あゆーむホールの有料イベントはチケット料金を **500 円引き**（会場での本パスポート提示により 500 円を返金）

あゆーむまでお申し込みください

※ 有効期限：本年10月1日～翌年3月31日
 ※ パスポート登録者本人のみ有効
 ※ あゆーむが主催あるいは共催する事業に限ります
 ※ あゆーむカレッジの事業（うたごえ喫茶・アートキッズ団など）は適用外です

—— 会期中のあゆーむイベント ——

■ 朝倉さや feat. 中孝介 ジョイントコンサート

[日 時] 10月20日（日）
15:00開演（14:30開場）
[会 場] ホール

■ 深山焼ミニ灯籠点灯コンサート 「ゆらめき音楽会」

[日 時] 9月28日（土）
16:45～19:00
[会 場] ロビー、交流広場
[演 奏] 小山田和則カルテット up!up!
[入場料] 無料
「深山焼ミニ灯籠をつくるワークショップ」の参加者作品にろうそくを灯します。

アクセス

白鷹町文化交流センターAYu:M

[車] 山形市より国道348号線で約35分
 [電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車（赤湯駅から約50分）徒歩約4分
 [お問合せ] 0238-85-9071

